



2018年11月6日

著作権フリー画像へのリンクを文末に掲載しています

## AIMS とランニング界における二人の歴史的アイコン、

### 帖佐寛章氏とホースト・ミルデ氏が「特別功労賞」受賞の榮譽に輝く

AIMS は、協会の成長と成功に多大な貢献をした二人の男性の偉業を称え表彰します

国際マラソン・ディスタンスレース協会 (AIMS) は、アテネマラソン・オーセンティック、北京、ベルリン、ボストン、シカゴ、コムラズ、ニューヨーク、パリ、東京マラソン等の世界最大規模の長距離走大会を代表し、ディスタンスランニングスポーツにおける二人の伝説的人物、ホースト・ミルデ氏と帖佐寛章氏に対し、ランニングスポーツを通じた健康的なライフスタイルの世界的な普及にその生涯を捧げたことに感謝を表します。ホースト・ミルデ氏は 2018 年 11 月 9 日 (金) にマラソン誕生の地ギリシャ・アテネで開かれる第 6 回最優秀マラソン選手賞受賞式にて、帖佐寛章氏は後日に、それぞれ AIMS 特別功労賞を受賞します。

世界中の現代マラソン運動を築く 4 本の柱となったのは、故クリス・ブラッシャー氏 (ロンドンマラソン) とフレッド・レボウ氏 (ニューヨークマラソン)、そして中央ヨーロッパのホースト・ミルデ氏とアジアの帖佐寛章氏でした。

**帖佐寛章氏 (88)** は 1991 年～2010 年に AIMS 会長職を務め、36 年の協会史上最長となる任期を全うしました。「偉大な人物ほど礼を尽くす」と言われますが、これはまさに帖佐氏に送るべき言葉と言えるでしょう。生涯を日本と世界の人々を助けることに捧げた帖佐氏の深い思いやりと高い品性は、他の人々から際立っています。陸上競技の優れた指導者からグローバルスポーツのディレクターとなり、世界中の何百万人もの人々に影響を与えました。

帖佐氏は日本陸上競技連盟 (JAAF) において副会長を含む要職を歴任しました。有名な日本の福岡マラソンのレースディレクターや、IAAF のクロスカントリー及びロードランニングコミッティー委員を務めました。その交渉術と世界中から寄せられる尊敬の念は、AIMS と IAAF の間に深く有意義な相互尊重関係を築くことに繋がりました。

さらに帖佐氏は、AIMS と日本の主要なスポンサーとの関係を促進し、AIMS が今日ある組織にまで成長、発展するのを助けました。

帖佐寛章氏はまた、ユニセフと AIMS との関係も構築しました。新世紀を迎えた 2000 年に、AIMS は 21 世紀の幕開けとともに始まる大会シリーズを世界各国で開催し、多額の寄付を集めました。世界中の子どもたちの生活を改善した、この AIMS ミレニアムレースシリーズのビジョンを描き企画したのが帖佐氏でした。

世界のスポーツの歴史において、これほど多くの人々に影響を与えその生活を向上した人物はほとんどいないでしょう。

ORGANISER



CO-ORGANISERS



OFFICIAL SUPPORTER



OFFICIAL SPONSOR





ホースト・ミルデ氏 (80) には、ランニングの殿堂入りをするべき理由が数多くあります。ベルリンマラソンを1974年に創設したミルデ氏は、その指揮のもと数百人規模から4万人を超えるランナーを擁する大会へと成長させました。ベルリンマラソンは、真の世界的な重要スポーツ・文化イベントとなりました。数々の世界記録を生み出す舞台となり、数百万人のドイツや世界のランナーの健康を促進しました。

ホースト氏は、ベルリンマラソンを1982年のAIMS設立メンバーに加え、第3回AIMS世界会議(1983年)をベルリンにて開催しました。また、1999年~2010年にはAIMS理事を務め、ランニングスポーツの発展に多大な貢献をしました。

1994年に、ホースト氏は「マラソニアム」として知られるAIMSランニング・マラソンミュージアムをベルリンの歴史あるオリンピック公園に開きました。マラソニアムは世界のランニングとマラソンの発展を記録する博物館で、現在10万点以上の収蔵品を有しています。ホースト氏は、AIMSマラソニアムにおいてマラソンとランニングスポーツの記録を永遠に保存する活動の中心人物となってきました。

ホースト氏はまた、自身の人格と価値観により、ベルリンマラソンとその参加者に与えたインスピレーションを通じて、多くの社会貢献・チャリティー活動を支援、推進してきました。

さらに、彼はAIMSマラソニアムにおいて、1936年夏季ベルリンオリンピックでジェシー・オーエンス氏が獲得した輝かしい4つのゴールドメダルを記念し祝福する企画展など、世界的な文化やスポーツを促進する重要な展示や企画を数多く行いました。ホースト氏は、2007年より毎年アテネで開催されているAIMSシンポジウムの会長も務めています。

加えてホースト氏は、90年代中盤にベルリンマラソンにてヨーロッパで初めてチップ計時を採用した先駆者でもあります。

聡明でウィットに富んだ革新者(本業はパン職人)であるホースト氏には、その人物像を語る有名なエピソードがあります。偉大なマラソンランナー、ユタ・ピピグ選手が受賞する予定だった、その年の世界最優秀選手賞がベルリンに破損して届いた際、自身が焼いたスポンサーシューズの完璧なレプリカを世界のメディアの前で贈り窮地を救ったのです。

ホースト氏のバトンは、現在ベルリンマラソンのレースディレクターを務める息子マーク・ミルデ氏に引き継がれています。

ホースト・ミルデ氏のトレードマークである謙虚さや献身、優秀さはランニング界全体に影響を与えました。

ホースト氏の輝かしい経歴に関する詳細情報は、下記にてご確認いただけます。  
[https://germanroadraces.de/?post\\_eng=horst-milde-the-founder-of-the-berlin-marathon-is-turning-eighty](https://germanroadraces.de/?post_eng=horst-milde-the-founder-of-the-berlin-marathon-is-turning-eighty)

#### ORGANISER



#### CO-ORGANISERS



#### OFFICIAL SUPPORTER



#### OFFICIAL SPONSOR





#### AIMS 会長パコ・ボラオ氏のコメント：

「帖佐寛章、ホースト・ミルデ両氏の努力と献身なくしては、AIMS が今日のような世界をリードするランニング組織となることはできませんでした。両氏とも AIMS 特別功労賞受賞に大変ふさわしい方です。数多くの功績に加えて、私たち全員にとってインスピレーションを与えてくれる特別な方々です。偉大なモハメド・アリは、「他者に貢献することは、この地球に住むための家賃である」という言葉を残しました。寛章氏やホースト氏と光栄にも知り合うことができた人は皆、お二人が他の誰よりも多くの家賃を払ったと同意するでしょう。受賞に際しては、お二人が影響を与え生活を改善した世界中の人々の感謝の気持ちが込められていることを感じてもらえたらと願います。」

#### ホースト・ミルデ氏のコメント：

「アテネの最優秀マラソン選手賞受賞式にて、AIMS の親愛なる友人の皆さんとお会いできることを楽しみにしています。私と私の家族にとって、この賞を頂くことは大変光栄です。ランニングは私の人生そのものであり、家族とは情熱を分かち合ってきました。この賞を私の家族に捧げます。」

#### 帖佐寛章氏のコメント：

「このような形で表彰していただき大変光栄です。この賞をいただき大変恐縮しています。受賞を決定くださった AIMS の皆さんに感謝します。私の妻と家族に対し、長年のサポートにお礼を伝えたいです。また、選手やマネージャー、そして人々が楽しめるランニングイベントを実現するため舞台裏で働くスタッフやボランティアの皆さんにも改めて感謝申し上げます。」

#### ORGANISER



#### CO-ORGANISERS



#### OFFICIAL SUPPORTER



#### OFFICIAL SPONSOR





## 「最優秀マラソン選手賞」授賞式について

最優秀マラソン選手賞授賞式の目的：

1. AIMS 最優秀マラソン選手賞を通して、その年の男子および女子の最優秀マラソン選手を発表し、表彰すること。
2. 類まれな選手及び関係者のマラソン発展への貢献を称え、表彰すること。
3. 環境や社会貢献活動を賞する特別賞設立により、AIMS 会員（450 大会以上のレースディレクター）の取り組みやイニシアチブを発信し、促進すること。
4. AIMS の役割やプログラム、サービスを強化すること。

授賞式は、2018年11月9日（金）にギリシャ・アテネにて、ギリシャ政府観光局及びアテネ国際空港の支援により、ヘレニック・アスレチックス・フェデレーション（SEGAS）、アテネマラソン・オーセンティック、並びにアッティカ地方との共催で行われます。

### 歴代 AIMS 特別功労賞受賞者

- 2013年 - イングリッド・クリスチャンセン
- 2014年 - ジョージ・ハーシュ
- 2015年 - フランク・ショーター
- 2016年 - ハイレ・ゲブレセラシェ
- 2017年 - ロザ・モタ

## AIMS について

AIMS は会員制組織で、1982年の設立以来その加盟大会は117以上の国と地域にわたる447を超える世界的な長距離レースにまで拡大し続けてきました。AIMS 加盟大会は地球上全ての大陸にわたり、例えば紀元前490年にペルシア人が「マラトンの戦い」に敗北したことを告げるため、ギリシャの兵士フィディピデイスがマラトンからアテナイまでを駆け抜けたとされる伝説に基づきつくられた「アテネマラソン・オーセンティック」も加盟大会の一つです。その他、北京、ベルリン、ボストン、シカゴ、コムラツ、ニューヨーク、パリ、東京マラソンといった世界史上最大規模の長距離走大会の多くがAIMSに加盟しています。AIMSの主要目的は、以下の3つです。

1. ディスタンスランニングを世界中に広め推進すること。
2. 国際ロードレースに関するすべての事柄において、国際陸上競技連盟（IAAF）と連携・協力すること。
3. 協会の会員間で情報や知識、専門技術を交換・共有すること。

### ORGANISER



### CO-ORGANISERS



### OFFICIAL SUPPORTER



### OFFICIAL SPONSOR





### 《編集者への注》

著作権フリーにてご使用いただける以下の画像を提供いたします。（各画像の人物は下記を参照ください。）

帖佐寛章氏。この画像のダウンロードには[こちら](#)をクリックしてください。

（ダウンロードURL：<http://bit.ly/2yWQshJ> ファイル約 400kb）

ホースト・ミルデ氏。この画像のダウンロードには[こちら](#)をクリックしてください。

（ダウンロードURL：<http://bit.ly/2yZARhk> ファイル約 900kb）

### ■お問い合わせ先

Peter McLean, Director of Public Relations  
Association of International Marathons & Distance  
Races  
C/o PMPR Excellence Ltd,  
Windsor House, 15 Kirklee Terrace,  
Kelvinside, Glasgow, Scotland, G12 0TJ  
Tel: 00-44-(0)-141-357-2516  
Mobile:00-44-(0)-774-037-1909  
Web: [www.prexcellence.com](http://www.prexcellence.com)

THIS IS THE CONTACT DETAILS

### ■日本における AIMS 広報窓口

岡村徹也  
AIMS Continental PR Manager for Asia  
AIMS National PR Manager for Japan  
名古屋市中区三の丸 1-6-1 AIMS PR Japan Office

お問い合わせはこちら

以上

#### ORGANISER



#### CO-ORGANISERS



#### OFFICIAL SUPPORTER



#### OFFICIAL SPONSOR

